



第5回 日野川フォトコンテスト入賞作品 一般Aの部 山本 麗正さん
皆生大橋・日野川

水辺のウオッチング

—表紙「漁」—

日野川にかかる皆生大橋から、投網をする漁師の姿が見えた。その奥には日本海も見える。川の魚、海の魚、いったいどんな魚が捕れるのだろうか。川と海と青空の青さがまぶしい。いつまでも多くの魚が住む清流であってほしい。

日野川流域 ものしり手帳

日野川、 もの知りさんに聞いてみよう・13

ちょうせいち 調整池

みなさんは、下の写真①のような建物を見たことはありませんか。この建物は私たちの生活ととても深い関わりを持っている水道の施設で「調整池」といいます。ということで今回は米子市水道局さんにお話をうかがいました。

米子市にある水源地のうち車尾と福市には、調整池という貯水タンクがあります。写真でも分かるようにドーム型をしています。車尾水源地には2基、戸上水源地（福市地内）には4基あります。一番大きい調整池は、内側の直径が46.6m、深さ5mの大きさで、8,500m³の水を貯めることができます。6基全部では37,000m³の水を貯めることができます。これは、学校にある25メートルプール約85杯分に相当します。

米子市のみなさんが使っている水道水は、ほとんどが地下水を汲み上げた水です。写真②のような井戸で汲み上げた水はいったん調整池に貯められます。そのままでも飲むことが出来ますが、さらに滅菌してみなさんの家庭や工場、遠くは境港市まで送られています。地下水のため、一年中、水温、水量にほとんど変化がありません。また汲み上げる水も一定の量が確保できます。この水を効率的に利用するため調整池に貯めておき、1日の中で使用量の多い時間帯（朝6時～9時、夜6時～9時）には貯めた水を使用し、逆に使用量の少ない時間帯（昼2時～4時、深夜1時～5時）には減った水を補給しています。このようにみなさんの生活に合わせて供給する水の量を調整する施設を調整池といいます。

また戸上水源地にある調整池には災害時などに備えて応急給水装置（写真③）という機械があって、断水したときなどに直接給水車に飲料水を給水することができるようになっています。

米子市水道局の隣に水道記念館があるので是非行って見て下さい。米子市水道のあゆみがよくわかりますよ！

米子市水道記念館

所在地…米子市車尾123番地
(0859) 32-6111
開館時間…午前9時～午後4時
休館日…土曜・日曜・祝祭日・
年末年始(12/28～1/4)



写真①調整池



写真②取水井戸



写真③
応急給水装置